



特長

- 従来の手作業のスプレッドシートを使用したプランニング、予算策定、業績予測、レポート作成および分析業務を自動化
- セルフサービス形式の動的な環境で効果的な可視化機能を活用することで、業務上の戦略と財務計画を連携させ、情報を統合し、トレンドを推測し、洞察を提供
- 社内外のデータから直接予測につながる洞察を自動検出
- 詳細の収益性分析と仮説に基づく分析を実行
- 使い慣れた Microsoft Excel のインターフェースを活用することで、ソリューションの導入を促進
- クラウド、オンプレミス、ハイブリッドの実装オプションに対応

IBM Planning Analytics

IBM TM1 がもたらすスピード、俊敏性、および先見性

概要

ここ数年間にわたってビジネス環境が不安定化し、不確実性やリスクが高まっており、この状況は今後とも継続するものと思われます。しかし、ほとんどの財務部門はスプレッドシートを使った、価値を生まない手作業のプロセスに膨大な時間を費やし、データの収集・集計・検証を行っています。このため、タイムリーに計画や予算、予測のレポートや付加価値の分析を提供できなくなることがよくあります。

この状況に対応するために、先進的な CFO と財務部門は、より詳細の洞察とより強力な予測機能を提供することでより効果的にビジネス・パフォーマンスを管理できるスピーディーで柔軟なソリューションを求めています。しかし、財務部門は、クラウド・ソリューションの使いやすさと迅速な展開か、オンプレミス・ソリューションのみが従来得意としてきた強力な柔軟なアナリティクス機能の、どちらかを選ばなければならないと考えがちです。しかし、もうどちらかを選ぶ必要はありません。IBM® Planning Analytics でこの両方を実現できるのです。

あらゆる必要な機能を提供するビジネス・パフォーマンス管理ソリューションがもたらすスピード、俊敏性、および先見性

IBM Planning Analytics は迅速・簡単・柔軟・完全なプランニングとアナリティクスを実現するクラウド・ソリューションであり、クラウド、オンプレミス、ハイブリッドの環境で展開できます。本ソリューションを通じて、財務部門はプロセスを効率化し、ビジネス・パフォーマンスの管理に必要な先見性を持つことができます。本ソリューションは手作業のタスクを自動化するだけでなく、データからこれまでにない洞察を直接導き出す機能を実現することで、自動化以外のメリットも提供します。IBM Planning Analytics はコグニティブ時代に対応できる財務部門の実現のために、ユーザーがデータとアナリティクスを対話型で処理し、効果的な可視化機能に基づいてコミュニケーションし、発生するトレンドに基づいて迅速な予測を行い、詳細の仮説に基づく分析を実行して別の仮説をテストし、洞察をアクションへと変えるタイムリーかつ信頼性の高いプランを作成できる環境を実現します。つまり、意思決定のスピードアップと質の向上が実現するのです。



IBM Planning Analytics は以下を提供します。

- **スピード:** 迅速に環境を展開し、必要に応じて拡張することができます。プランニング、分析、レポートを自動化することで、効率を高めます。
- **俊敏性:** 変化するビジネス条件にマッチするプランニング、予算策定、業績予測を行うことができます。その後、業務上の戦略と市場状況に関連付けられた企業目標に対して、財務計画を連携させることができます。
- **先見性:** 社内外のデータからの洞察を探索および可視化し、ビジネス・ドライバーを理解し、この洞察を将来を確実に予測できるプランニングに反映します。

財務計画と業務上の戦略を連携させることができる、対話型のプランニングとアナリティクスのためのワークスペースが利用可能な IBM Planning Analytics を活用することで、情報を統合し、トレンドを推測することができます。本製品を活用すると、ドライバーに基づくプランニングやローリング予測のようなベストプラクティスを促進でき、個人、グループ、企業の責任者は従来のさまざまなプランニング・ツールの制約にとらわれることなく作業ができます。

プランニングとアナリティクスのための対話型ワークスペース

IBM Planning Analytics は、すべてのコスト・センターのオーナーとビジネス部門のマネージャーに自由にカスタマイズ可能なワークスペースを提供します。KPI に関する一貫性のある単一のビューを提供し、ユーザーはプランの評価、パフォーマンス・ギャップの特定、原因の解析を行うことができます。ユーザーはビジネス上の仮説とシナリオをテストし、別のアクションを実施することによる財務上のインパクトをすぐに確認できます。

効率的なデータ抽出を実施することで、共通のビジネス用語を使用して簡単に分析とレポートの作成を行うことができます。また、強力な多次元分析機能により、あらゆる階層と管理軸を組み合わせた柔軟なデータ分析を行うことができます。パワー・ユーザーは、自動発行される効率的なクエリーにより、ネストされた非対称型のレポートなどを提供できます。しかし、多次元分析やレポートをこれまで以上に素早く必要なユーザーに共有する上で、ユーザーがデータ分析の専門家である必要はありません。

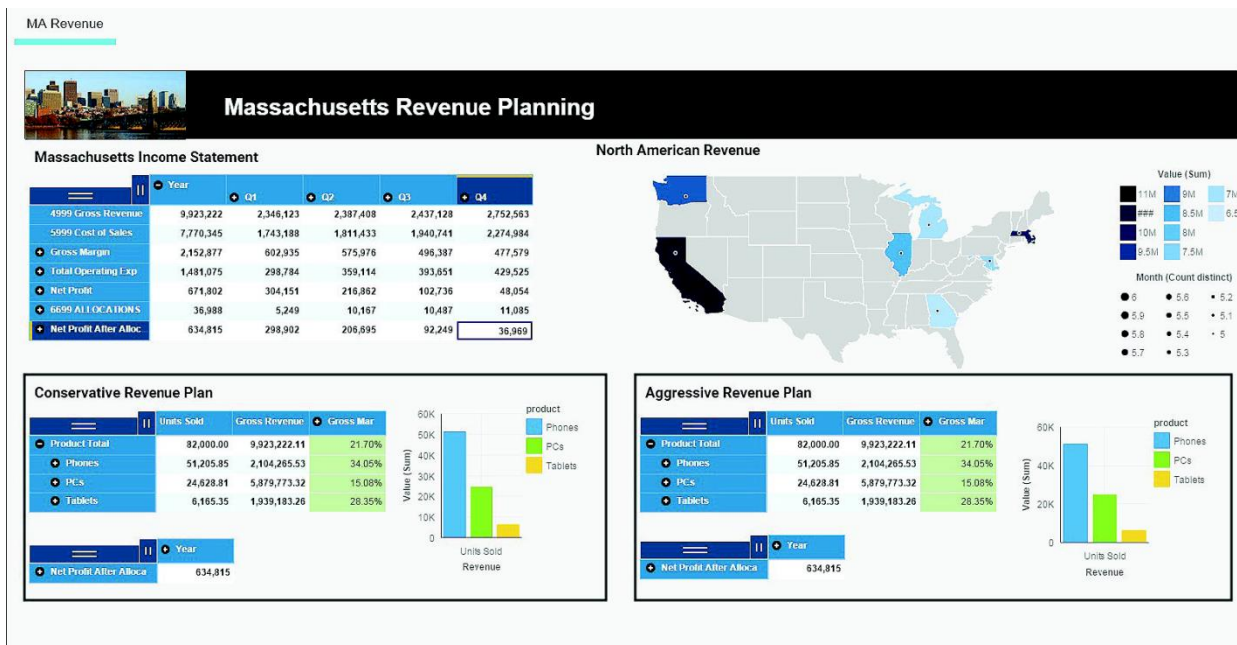


図 1: IBM Planning Analytics は、対話型で自由にカスタマイズ可能なワークスペースを提供します。

多次元分析

IBM TM1[®] による強力なオンライン分析処理 (OLAP) エンジンを搭載した IBM Planning Analytics は、過去および将来のビジネスを示す大量のデータに対して多次元分析を行います。複数のデータ・ソースを統合し、あらゆる関連システムの情報の比較分析を行うことができます。ユーザーは、製品と顧客の収益性、売上の内訳、価格と販売数の差異などに関する複雑な多次元計算と多次元分析を実行できます。複雑な階層と次元を処理することで、簡単にビジネス・パフォーマンスに関する洞察を獲得できます。

IBM Planning Analytics を使用すると、プランニング・モデルとシナリオ・ベースの階層の管理を簡略化できます。この機能を通じて、属性をモデリングし、属性を次元のように処理することで属性のドリルダウンを行うことができます。その際には、新規の次元を作成したり、階層に要素 (メンバー) を追加する必要はありません。この結果、より詳細の分析が可能な効率の高いデータベースが実現します。これは、特に小売企業などにとって役立つ機能となります。

また、分散管理機能によって、すべてのロケーションと部門が厳格に管理されたコラボレーション・プロセスに参画できます。その結果、自社のビジネス構造 (製品ファミリーや販売 territories など) を、より信頼性が高く、将来を見据えた先見性をもって見渡すことができるようになります。また、計画と業績予測の目標だけでなく、収益性とビジネス成長のためのイニシアチブの目標を定義することもできます。

セルフサービス形式による高度なモデリング

IBM Planning Analytics が提供する先進的なモデリング機能を活用すると、すべての財務部門とビジネス部門のアナリストは、IT 部門のサポートをほとんど必要とすることなく高度なプランニングと業績予測を行い、そのプロセスを管理できます。財務部門が管理し、成熟した多次元テクノロジーを搭載する IBM Planning Analytics を活用すると、最も複雑な収益性モデルとシナリオ・モデルに関しても多次元分析と多次元計算を行うことができます。

アナリストは、ほぼあらゆるビジネス・ドライバーを統合したモデルに基づいて計画、予算、業績予測を作成できます。モデルは企業構造、ビジネス・ルール、リレーションシップを反映し、そこに変化があった場合は、モデルを容易に変更することができます。階層のメンバーの属性を簡単にモデリングすることで、詳細の多次元分析を実行できます。ユーザーはプランニング・プロセスを通じて業務上のドライバーを定義し、財務への影響因子と結び付けることができます。

この結果、パフォーマンスに関する主な指標をより効果的に可視化し、さまざまな業務上のドライバーが計画と業績予測に及ぼす可能性のある影響範囲を示すことで、実施するアクションの評価を行うためのリードタイムをより長く設定できます。

また、IBM Planning Analytics によりプランニング・サイクルを短縮し、手作業のスプレッドシートによるプロセスでよく見られるエラーを削減できます。このため、アナリストは付加価値の高い分析に費やす時間を増やし、スプレッドシートの管理に費やす時間を減らすことができます。

データ・ディスカバリーと IBM Watson Analytics の予測機能

IBM Watson Analytics の画期的なテクノロジーを活用する IBM Planning Analytics を通じて、自動的にデータからこれまででない洞察を直接導き出すことができます。

ガイド型のデータ探索と共通のビジネス用語に基づく自然言語による分析を使用すると、簡単にデータを処理し、迅速で包括的な分析を実行できます。その後、自動ナビゲートされた明確で説得力のある可視化表現を通じて、意思決定者により質の高い分析結果を共有できます。Watson Analytics の統計分析機能と予測機能を使用することにより、次に何が発生する可能性があり、どのような対応が行えるか予見することができます。

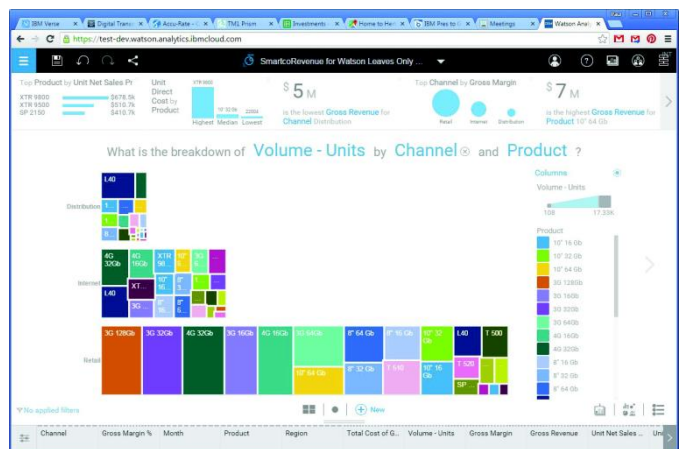


図 2: ガイド型のデータ探索、予測アナリティクス、可視化の自動ナビゲートを通じて、計画の策定と評価を行うことができます。

スコアカードとダッシュボード

IBM Planning Analytics は、スコアカードとダッシュボードを含む包括的なレポート機能を提供します。役割ごとに計画と予算に関するダッシュボードとスコアカードの開発を行い、全社に共有することができます。

スコアカードとダッシュボードを使用すると、ビジネス部門のユーザーは特定の役割と機能に基づいてパフォーマンスの測定と監視を行うことができます。この結果、イニシアチブ、リソース、アクションを企業目標と連携させることで、戦略の管理と実行を促進することができます。

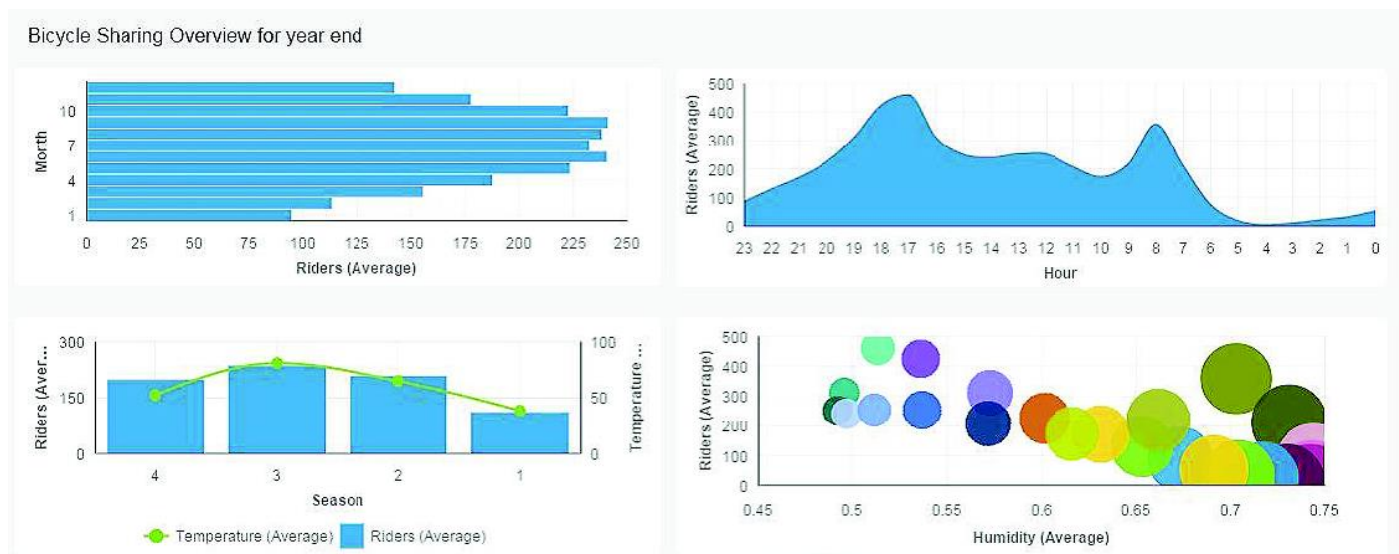


図 3: スコアカードとダッシュボードにより、迅速かつ直感的に企業目標に対する進捗状況を可視化します。

使い慣れた Microsoft Excel のインターフェースを活用
 スプレッドシートには機能制限があるものの、最もよく使用されるソフトウェア・ツールの 1 つです。であるからこそ、**IBM Planning Analytics は、Microsoft Excel のスプレッドシートを排除するのではなく、必要に応じて従来通りにユーザーが活用できる環境を提供します。**

IBM Planning Analytics は包括的な Excel の機能と形式 (グラフ作成と組み込まれた関数に関する Excel の機能を含む) を保持しています。財務担当者は最新のプランニングとアナリティクスのソリューションが提供するあらゆる機能を活用したうえで、従来通り Excel のインターフェースを活用できます。ユーザーは、使い慣れたスプレッドシートの形式を使用して、プランニングとアナリティクスのための多次元モデルが提供するデータの探索と分析を行うことができ、より多くのユーザーにその分析機能を提供することにより、企業はよりスピーディーで正確な意思決定を実現することが可能になります。

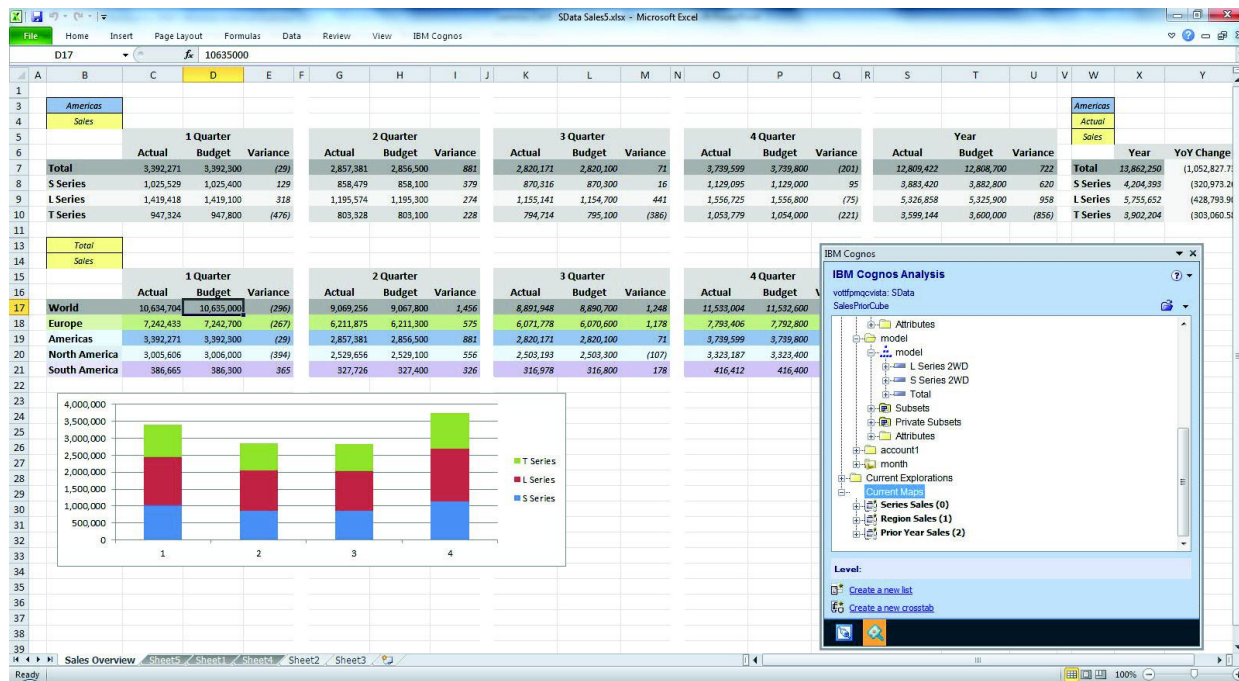


図 4: IBM Planning Analytics では、ユーザーは使い慣れた Excel のインターフェースを活用できます。

ビジネス・アクセラレーター (IBM Quick Start Templates)

IBM Planning Analytics を導入する企業は、IBM Quick Start Templates のカタログを活用することで、よりスピーディーにソリューションの実装を行い、より迅速に投資効果 (ROI) を得ることができます。

このようなビジネス・テンプレートはデータ、プロセス、業務ロジックが事前に構築されたモデルであり、IBM の専門家と先進的な IBM のお客様によるベストプラクティスを結集し、ナレッジボックス化したものです。プランニング・モデルは、多くの重要な機能領域と業界別のプランニングとパフォーマンス管理に関する独自要件に対応します。このようなテンプレートを導入する企業は、ソリューションの実装を即座に行い、プロジェクトのスケジュールを合理化できます。

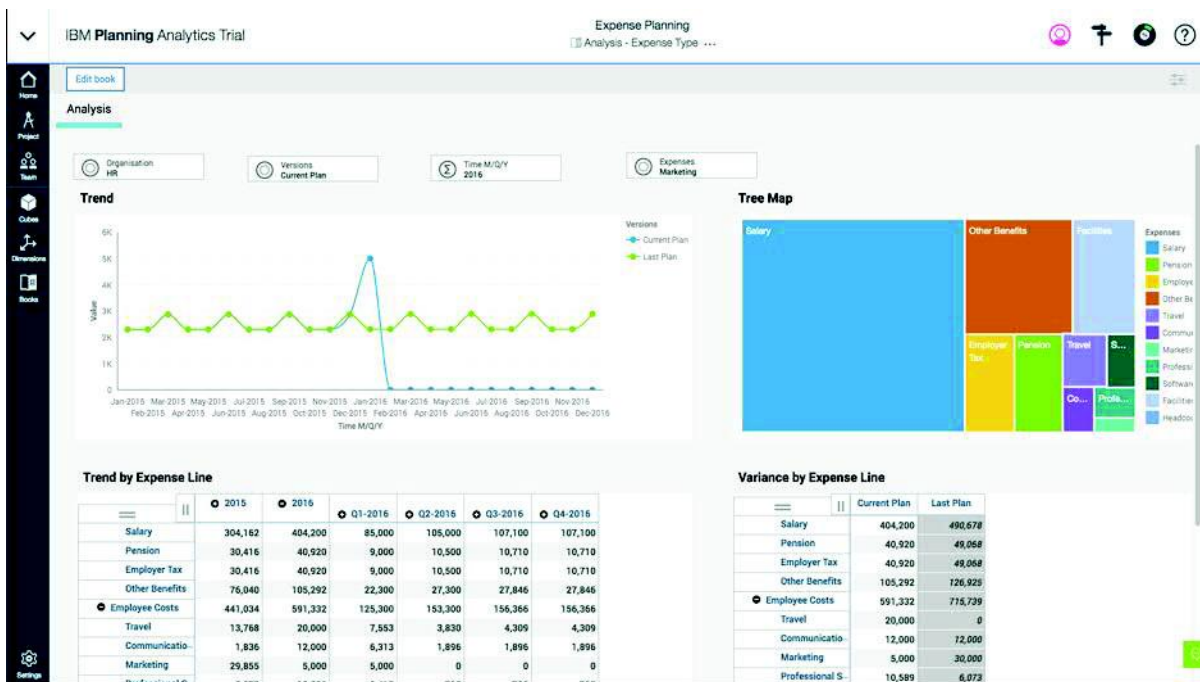


図 5: 事前に構築された Quick Start Templates はさまざまな機能プロセスと業界固有のプロセスを通じ、プランニングのベストプラクティスをナレッジボックス化することで、即効性のある改善効果を得ることを可能にします。

IBM Planning Analytics のメリット

- Microsoft Excel の包括的な機能を備えた、自由にカスタマイズ可能なプランニングとアナリティクスのワークスペースを提供します
- 業務上の戦術と市場状況に関連付けられた企業目標に対して、財務計画を連携させることができます
- 財務部門とビジネス部門のユーザーは、タイムリーで信頼性の高い計画、予算、業績予測を作成できます
- 全ての地域と部門が、財務部門が管理する共同のプランニング・プロセスに参画することができます
- ドライバーに基づくプランニングやローリング予測のようなベストプラクティスを促進できます
- 複雑なコストの割り当てや収益性の分析を行い、ユーザーが製品の収益性をより詳細にドリルダウンできる環境を実現します
- 自動的にデータから直接洞察を導き出し、IBM Watson Analytics の予測機能を通じて迅速に将来を見据えた意思決定を実現できます
- 効果的なデータの可視化を自動化します
- 主要業績指標 (KPI) を監視するためのスコアカードとダッシュボードを提供し、ビジネスの結果をモニターします
- ガイド型のモデリング、データとメタデータの管理、アプリケーションの設計と展開を行います
- モバイル・ユーザーにモバイル機能 (Apple の iPad 用のモバイル・クライアントなど) を提供します
- 実務に即した多面的なデータ管理と自然言語検索により、迅速で強力な分析を実現します
- 役割別のセキュリティを設定することで、さまざまなユーザーとユーザー・タイプをサポートし、ユーザーが参照する必要がある情報のみを参照できるようにします
- 事前に構築された IBM のプランニング・テンプレートが提供するソリューション・アクセラレーターによって、迅速に ROI を達成します
- クラウド、オンプレミス、ハイブリッドでの実装を促進します

結論

不安定化し不確実性とリスクが高まる経済環境において、IBM Planning Analytics は企業が競合に打ち勝つために必要なスピード、俊敏性、および先見性の能力向上を実現します。本ソリューションは動的なプランニングとアナリティクスのワークスペースを提供するだけでなく、財務部門とそれ以外の部門のユーザーは本ソリューションに基づいて情報を統合し、トレンドを予測し、必要な洞察を提供できます。迅速な仮説に基づくモデリングと収益性の分析を通じて、プランニング、予算策定、業績予測を可視化できます。基本的なパフォーマンス管理プロセスを実現し、単に自動化するだけでなく、全社的にコラボレーションを促進し、意思決定の質を改善します。IBM Planning Analytics を活用することによって、企業はビジネスで将来発生するあらゆる事態により俊敏に対応できるようになるのです。

IBM Analytics について

IBM Analytics ソフトウェアはデータに基づく洞察を提供するため、企業はよりスマートな業務を実現し、同業他社を凌駕することができます。この包括的なポートフォリオには、ビジネス・インテリジェンス、予測アナリティクスと意思決定管理、パフォーマンス管理、およびリスク管理のソリューションが含まれています。

IBM Analytics ソリューションを導入すると、企業はビジネス業績に重大に影響を及ぼす可能性がある領域 (顧客分析など) のトレンドとパターンを検出し、可視化することができます。このようなソリューションはシナリオを比較し、潜在的な脅威とビジネス・チャンスを予測し、リソースの計画・予算策定・予測を改善し、リスクと期待される利益のバランスを取り、規制に基づく要件に対応することができます。アナリティクスを幅広く活用する企業は戦術的な意思決定と戦略的な意思決定を連携させることによって、ビジネス上の目標を達成できます。詳細情報については、ibm.com/analytics/jp/ja をご参照ください。

お問い合わせ先

IBM の担当者からのお電話が必要な場合や質問がある場合は、ibm.com/analytics/jp/ja からお問い合わせください。IBM の担当者からは、お客様からお問い合わせをいただいてから 2 営業日以内に回答を差し上げます。



© Copyright IBM Corporation 2015

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

Produced in Japan
2016 年 10 月

IBM、IBM ロゴ、Cognos、Watson、TMI および [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Microsoft および Microsoft Excel は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

本書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本書に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。



Please Recycle
